

---

## 平成26年度予算第一特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

平成26年3月11日

### 質問者（質問順）

- 1 白井正子委員（共産党）
- 2 高橋徳美委員（自民党）
- 3 山下正人委員（自民党）
- 4 和田卓生委員（公明党）
- 5 五十嵐節馬委員（民主党）
- 6 望月高德委員（結ぶ会）

こども青少年局

## 局 別 審 査

### 1 白 井 正 子 委 員 ( 共 産 党 )

#### 1 株式会社が経営する保育所の保育士定着状況について

- (1) 短期間で園長や保育士が変わり、保護者や子どもに不安を与えた園についてどう認識しているのか。
  - (2) ある法人が2010年度に運営していた市内全園の、2010～2012年度の保育士の平均在職年数について伺いたい。
  - (3) 保育士の在職年数が短いことの課題はどこにあると考えているのか。
  - (4) 2011年度の保育所運営費の弾力運用にかかる事前協議で市が承認した総額、園数及び1園あたりの額について伺いたい。
  - (5) 保育所運営費は弾力運用をせず、用途を規制すべきと考えるがどうか。
- (要望) 保育所運営費は弾力運用をせず、用途を規制することを要望する。

1 地域における子育て支援について

- (1) 「利用者支援事業」の事業内容について伺いたい。
- (2) 地域子育て支援拠点における「利用者支援事業」を「モデル事業」として実施する理由について伺いたい。
- (3) 地域子育て支援拠点における「利用者支援モデル事業」について、今後どのように検討し、展開していくのか。
- (4) 横浜子育てサポートシステムの支部事務局を地域子育て支援拠点に移管した区では、どのような効果があったのか。
- (5) 横浜子育てサポートシステムの支部事務局を地域子育て支援拠点に移管したことで、どのような課題が見えてきたのか。

2 産後母子ケアモデル事業について

- (1) 産後母子ケアモデル事業の利用状況について伺いたい。
- (2) 産後ケアの充実に向け、今後どのように取り組むのか。
- (要望) 育児不安を抱えて困っている方の利用者ニーズは多い。産後のケア対策を積極的に進めていただきたい。

3 プレイパーク支援事業について

- (1) プレイパークの特長について伺いたい。
- (2) 市が、もっと積極的にプレイパークの周知を行うべきと考えるがどうか。

4 認可保育所の運営について

- (1) 本市の株式会社立の保育所はどれくらい増えているのか。平成22年4月と平成25年4月の株式会社の保育所数と認可保育所に占める割合について伺いたい。
- (2) 株式会社の参入が増えたことに伴う課題認識について伺いたい。
- (3) 認可保育所に対してどのように指導監督を行っているのか伺いたい。

(4) 多様な事業主体が参入する中で、保育の質を担保するための、今後の指導監督体制強化の考えについて伺いたい。

(要望) 問題を未然に防止できるよう、指導監督の充実を要望する。

#### 5 認可保育所の障害児保育について

(1) 平成25年4月時点の認可保育所における障害児の受入人数について伺いたい。

(2) 療育センターに通所している児童も保育所や幼稚園などで集団生活ができる場を確保すべきと考えるがどうか。

#### 6 放課後児童育成事業について

(1) 留守家庭児童対応としてスピード感が足りないのではないかと考えるが、副市長の考えを伺いたい。

(2) 放課後児童クラブに対してどのような支援を充実させたのか。

#### 7 若者の自立支援について

(1) 若者自立支援の取組内容について伺いたい。

(2) 若者サポートステーションの平成25年度の就労実績について伺いたい。

(3) 就労訓練における課題について伺いたい。

(4) 今後の就労訓練における取組の方向性について副市長に伺いたい。

1 神奈川県立中里学園について

- (1) 中里学園の名称の由来について伺いたい。
- (2) 本市の北部地域における児童養護施設の必要性について伺いたい。
- (3) 神奈川県が中里学園を廃止することにした理由について伺いたい。
- (4) 神奈川県が数年前に行った中里学園の改修について、時期と内容及び本市がいくら費用を負担したのか伺いたい。
- (5) 改修費用全体額について伺いたい。
- (6) 本市が県と十分な調整を行わずに多額の負担をしたのは税金の無駄遣いではないのか。
- (7) 中里学園を廃止するという県の意志がはっきりした以上、子どものためにできる限りの努力をして頂きたいと考えるが、副市長の考えを伺いたい。

2 横浜市の保育政策について

- (1) 平成26年4月入所に向けた二次審査後の保留児童の状況について伺いたい。
- (2) 区役所の窓口において、入所が難しいことを知った市民に対応する職員が苦勞していることについて、どのように考えているのか。
- (3) 市長の待機児童ゼロへのこだわりが、多くの弊害を生んでいると考えるがどうか。
- (4) 児童福祉法の理念である第1条について伺いたい。
- (5) 児童福祉法7条に規定する「児童福祉施設」にどのような施設が含まれているのか伺いたい。
- (6) 児童福祉法上に位置付けられた保育所として保育政策を進めているとは思えない。横浜市はこのまま間違ったメッセージを出し続けるのか。副市長に考えを伺いたい。
- (7) 保育政策を労働政策として考えているとしか思えないが、どのように考えているのか伺いたい。

#### 4 和田卓生委員（公明党）

##### 1 道志村自然体験推進事業について

- (1) 廃止前の横浜市営キャンプ場の利用者数と市民優待サービス利用者数及びそれぞれの事業に係る経費について伺いたい。
- (2) 市民優待サービスの開始にあたり講じた利用促進策について伺いたい。
- (3) 市民優待サービスの導入についての村の評価はどうか伺いたい。
- (4) 今後も、より多くの子どもたちが、道志村での自然体験機会を得られるよう、市民優待サービスを継続する必要があると考えるがどうか。

##### 2 横浜子育てサポートシステムについて

- (1) 横浜子育てサポートシステムの平成24年度の会員数と援助活動件数について伺いたい。
- (2) 横浜子育てサポートシステムの支部事務局について、機能強化の目的を伺いたい。
- (3) コーディネートを行うにあたってどのようなことを課題と認識しているか伺いたい。
- (4) 利用しやすい仕組みとするために、利用会員及び提供会員の双方のニーズを把握し、取組に反映すべきと考えるがどうか。

##### 3 横浜保育室の新制度移行支援について

- (1) 平成26年度の認可保育所開設へ向け、現在取り組んでいる横浜保育室の数について伺いたい。
- (2) 横浜保育室事業者の意向把握の状況について伺いたい。
- (3) 横浜保育室からの相談対応の中で見えてきた具体的課題について伺いたい。
- (4) 横浜保育室の保育士確保支援について、新年度はどのように取り組むのか伺いたい。
- (5) 横浜保育室の認可移行へ向けた施設整備支援について新年度はどのように取り組むのか伺いたい。

(6) 社会福祉法人以外の法人に求められる資金保有要件を緩和すべきと考えるがどうか。

#### 4 児童虐待対策の推進について

- (1) 児童虐待の発生状況に対する認識について伺いたい。
- (2) 虐待通告があった際の児童相談所の初期対応について伺いたい。
- (3) 初期対応後に児童相談所が行う具体的な支援内容について伺いたい。
- (4) 区役所や児童相談所の職員の専門性を高める取組について伺いたい。

#### 5 社会的養護が必要な子どものうち施設に入所する子どもの実態について

- (1) 児童養護施設に入所する子どもの入所理由はどのようなものか伺いたい。
- (2) 施設職員のスキル向上に向けた取組について伺いたい。
- (3) 児童養護施設における養護の方向性をどう考えているのか伺いたい。
- (4) 児童養護施設の退所に向けてどのような支援を行っているか伺いたい。
- (5) 児童養護施設を題材としたドラマの内容についてどのように考えているのか伺いたい。

#### 6 放課後児童育成施策の充実について

- (1) 放課後キッズクラブの設置率が区ごとに異なる理由について伺いたい。
- (2) はまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへの転換をどのように進めていくのか伺いたい。
- (3) 全小学校をはまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへ転換するにあたっての課題は何か。また、全小学校をキッズクラブへ転換した場合の運営費総額、市の財政負担及び目標年度はどうなるのか伺いたい。
- (4) 子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、面積基準、運営主体及び指導資格など放課後児童クラブが受ける影響と課題について伺いたい。
- (5) 子ども・子育て支援新制度に向けて、放課後児童クラブの課題にどのように対応していくのか伺いたい。

1 保育所のニーズについて

- (1) 保育ニーズはあるのに、なぜ定員割れが発生するのか。主な原因について伺いたい。
- (2) 保育所の整備を考える際、保育ニーズの分析をどのように行っているのか伺いたい。
- (3) 定員割れによる空きスペースの活用方法について伺いたい。

2 保育の質の確保について

- (1) 認可外保育所への立入調査の結果、特に指導の多い項目と前年との増減の状況について伺いたい。
- (2) 立入調査による指導事項を改善させるため、どのように取り組んでいるのか伺いたい。

3 放課後キッズクラブへの転換について

- (1) はまっこふれあいスクールの理念と特長について伺いたい。
- (2) 全ての小学校を放課後キッズクラブに転換する必要性はあるのか伺いたい。
- (3) 放課後事業を進める上で、子どもたちにとって最良かどうかという視点が必要と考えるがどうか。
- (4) 子育て支援を充実させる市政の最終目標について、副市長に伺いたい。

4 若者の自立支援について

(1) よこはま型若者自立塾について

ア 長期のひきこもり経験がある若者などを対象とした、6か月間の長期訓練の内容と効果について伺いたい。

イ 長期訓練における実費負担について伺いたい。

ウ 生活困窮状態にある若者をどのように支援していくのか

(2) 寄り添い型学習等支援事業について



ア 支援対象者をどのように支援につないでいるのか伺いたい。

イ 来年度に18区での実施後は、どのように取り組んでいくのか伺いたい。

## 5 障害児施設の整備について

(1) 「よこはま港南地域療育センター」の開所によって初診待機期間はどうなったのか伺いたい。

(2) 初診待機期間の短縮のために、これまでどのような取組を行ってきたのか伺いたい。

(3) 初診待機期間が短縮されない理由について伺いたい。

(4) 初診待機期間の短縮に向けて、今後どのように取り組むのか伺いたい。

(5) 知的障害児施設に入所することが望ましいものの、入所が出来ていない知的障害児は市全体でどのくらいいるのか伺いたい。

(6) 施設の老朽化や入所待機などの課題に、白根学園児童寮及びなしの木学園の再整備でどのように対応していくのか伺いたい。

(7) 児童福祉法の対象から外れる18歳を超えた入所者の退所が進んでいない課題がある。今後18歳を超えた入所者について、具体的にどのように対応していくのか伺いたい。

## 6 児童虐待対策の推進について

(1) 平成25年度に新たに策定した「横浜市子ども虐待対応における連携強化指針」は、どのような内容か伺いたい。

(2) 新たに策定した指針に位置づけられた、区役所と児童相談所の役割について伺いたい。

(3) 新たに策定した指針を踏まえ、「児童虐待及び不適切養育の共有ランク表」はどのように改善するのか伺いたい。

(4) 区役所における児童虐待対応の「体制の整備・強化」の状況について伺いたい。

(5) 民生委員・児童委員、警察などの関係機関相互の連携促進の取組内容について伺いたい。

(6) 児童虐待対策を推進していく上での決意について副市長に伺いたい。

1 児童養護施設等の施設退所後の児童に対するアフターケア事業について

- (1) 児童養護施設等の施設退所後の児童に対するアフターケア事業の内容について伺いたい。
  - (2) 返還不要の奨学金により進学する退所後児童を支援する「横浜版カナエール」の内容について伺いたい。
  - (3) 「横浜版カナエール」の実施を評価する。事業をスタートした所感を伺いたい。
  - (4) 「横浜版カナエール」の原資が寄附による社会福祉基金ということもあり、継続して実施していく必要があると思うが、予算確保の考え方について伺いたい。
- (要望) 意欲のある子どもが社会で自立していけるよう、継続して支援をしてほしい。

2 家庭的保育事業について

- (1) 本市で行われている2つの家庭的保育事業の概要について伺いたい。
- (2) 家庭的保育事業を展開する理由について伺いたい。
- (3) 個人型の家庭保育福祉員の保育の質をどのように捉え、そのうえで質の確保に向けてどのように取り組んでいるのか伺いたい。
- (4) NPO型家庭的保育事業の研修の水準を担保するため、どのようにしているのか伺いたい。
- (5) NPO型家庭的保育事業の保育の質に対する認識と、保育の質の確保に向けてどのように取り組んでいるのか伺いたい。

3 保育所待機児童対策について

- (1) 送迎保育ステーションの施設ごとの利用状況について伺いたい。
- (2) 送迎保育ステーションを今後どうしていくつもりなのか伺いたい。
- (3) 保育の質を落とさず、市費の投入を抑えながら、どのように保育ニーズへ対応していくのか伺いたい。
- (4) 待機児童対策とこども青少年局の他の施策とのバランスをどのように考えて

いるか伺いたい。

- (5) 将来的に保育ニーズが減少していくことが予測できる中で、その場合の対策をどのように進めるのか伺いたい。

#### 4 地域療育センターの利用者負担増について

- (1) 地域療育センターの利用者負担の見直しの内容とその実施時期について伺いたい。
- (2) 利用者負担の見直しの考え方について伺いたい。